京勝法退治のため奥州より下向の時伏見の
城西の丸の加勢に至れし人なり

一白鬚社

安麻村にあり祭神天照大神八幡宮春日
なりと云伝へり上代とハ八丈と云し社
家なりしを今も其儀を八丈といふ社家を
八丈といふ事其外風俗之又松蓋寺の境
内に松蓋大明神といふあり明浦寺社の摂
社十二所の内なり当村ハ三嶋の山口にし
て往古より関所あり轟り是より役人を下し

又村より源為人を盗賊のもの出判を改
所に網盈古有部無部の関と云しハ是なり
といふ又云昔三嶋山に手長足長といふ鬼
住てりの山に手を延往還の人を殺して食
喰ふ家に三足の烏飛来て鬼ある時ハ有
となき鬼なき時ハ無となく有となく時ハ
人通りを無となく時ハ人通りありしと也へ
に此里の名を有部無部の関と名付しと
いふ按るに奥山に盗賊など隠れ住みて
此所に出て旅人切殺し衣服を剥衣食用